

第19回 百舌鳥・古市古墳群世界遺産学術委員会（議事要旨）

日時： 2024年3月13日（水）10:00～12:10

場所： 大阪府咲洲庁舎 41階 共用会議室8

出席委員： 和田委員長、岡田副委員長、福永委員、増田委員、宗田委員
シュタインハウス委員

オブザーバー：文化庁文化資源活用課 鈴木調査官、松下係員

（※議題1～3：すべて公開）

【議題】

1 史跡整備基本計画の骨子について（議事）

- 百舌鳥と古市が別の史跡であり、それぞれの専門家委員会で議論されていることは尊重するが、世界遺産としては1件であり、両者が協力して事業を進めていることを勘案すると、目次立てや用語について可能な範囲で統一を図られたい。
- 復元展示の対象としてなぜこの古墳を選んだのかについて説明すること。
- 植生マット等に在来種を使用するなど、生物多様性に配慮した計画とすること。
- 住民との協働について内容を記載するなど、基本理念、基本方針と整合した事業計画を記載すること。
- 「世界遺産の文脈における影響評価のためのガイダンスとツールキット」（2022年）を踏まえて遺産影響評価を行うこと。
- 整備基本計画をそのまま翻訳しても、日本の史跡保護で培われてきた日本特有の表現があるため海外の専門家には理解が難しい可能性がある。追加的勧告への対応としてユネスコへ報告を行う際には、海外の専門家にも理解可能な論点を明確に明示し、用語を吟味したサマリーを作成すること。

2 モニタリング 2023（令和5）年次報告について（報告）

- モニタリングを「包括的保存管理計画」に則って着実に行っていることは評価できる。そのうえで、10年・20年後と先を見据えて、デジタル化、データベース化について検討するとともに、モニタリングの項目となっていない事象（海外専門家からの意見聴取の実施やユネスコ・イコモス対応など）も簡易に記した記録を作成することについても検討されたい。

3 令和5年度事業について（報告）

特に意見なし